



関連病院実習カリキュラム（小児科 1～2 週間）

病院名：碧南市民病院

診療科：小児科

期間：1～2 週間

実習管理責任者：杉浦誠治

カリキュラム責任者：土井悟

実習指導医：土井悟

1 実習目標

一般目標：

小児の特性、年齢に応じた発育や発達の違いを認識し、疾患の病態を理解した上で、両親の協力を得ながら対応し、治療することを学ぶ。

行動目標：

- ① 患児及び家族と良好な人間関係を確立する。
- ② 問診：周産期、発育発達、既往歴、予防接種歴などに注意し現病歴を家族より聴取する。
- ③ 系統的診察により全身の所見を得ることができる。
- ④ 検査結果を解釈できる
- ⑤ 得られた情報を整理し、P O S の形式に従って診断、治療計画を立て電子カルテに記載する。
- ⑥ 他職種の医療スタッフとも協調、協力し、的確に情報を交換して問題に対処できる。
- ⑦ 症例を適切に要約し、状況に応じた呈示ができる（入院概要録を含む）

2 実習方略（実習方法）

(1) オリエンテーション

(2) 受持ち患者

常時最低 3～4 名の患者を担当する。

(3) 病棟実習

- ① 入院受持ち患者の診療は毎日必要に応じて行い、診療内容を電子カルテに記載する。
- ② 始業前に患児の予定を確認し、検査や他科依頼の際には患児についていく。
- ③ ベッドサイドでの基本手技（採血、注射等）は指導医のもと自ら行う。
- ④ 毎日就業時に診察内容、電子カルテ記載の内容のチェックを指導医に受ける。
- ⑤ 新生児の診察を見学する。

(4) 入院時カンファレンス

毎週月曜日（午後 5 時～）受持ち患児の症例呈示を行う。

(5) 外来実習

- ① 午前の一般外来において、新来患児の予診を取り電子カルテに記載する。



- ② 予診を取った患児の診察を見学し、自ら診察も行う。
- ③ 基本的手技（採血、点滴等）の一部を指導医のもとで行う。
- ④ 特殊外来（心臓、アレルギー、腎臓、神経）及び乳児健診の診察を見学する。

3 実習評価（チェックリスト）

(1) 診察法

- 問診を要領よく的確に取れる
- 全身の診察（全身状態、咽頭・口腔内所見、胸部聴診所見、腹部所見、神経学的異常所見、皮疹等）を正確かつ要領よく行える
- 患児の発育発達をチェックし判断できる

(2) 基本的臨床検査法

- 検尿結果を解釈できる
- 血液検査結果（血液一般と白血球百分率、血清生化学的検査、アレルギー検査、ウイルス学的検査、内分泌学的検査等）を解釈できる
- 各種培養の細菌塗抹、培養及び薬剤感受性試験の結果を解釈できる

(3) 画像検査法

- 胸部・腹部の単純エックス線写真の結果を解釈できる
- エコー、CT、MRI 結果を解釈できる

(4) 生理検査

- 末梢神経伝導速度、筋電図、脳波の結果を解釈できる

(5) 救急対処法

- 小児に多い救急疾患（発熱、けいれん、ぜんそく発作、脱水等）の基本的知識と応急処置を理解する

(6) 医療の場での人間関係

- 患児や家族との適切な人間関係をつくることができる
- 指導医及び他の医師、コメディカル・スタッフとの適切な人間関係をつくることのできる

(7) 医療文書の作成

- 適切な診療録・入院診療概要約が作成できる
- 適切な症例呈示ができる